

留寿都小学校学校便り

令和2年8月31日



発行責任者

松原 康雄

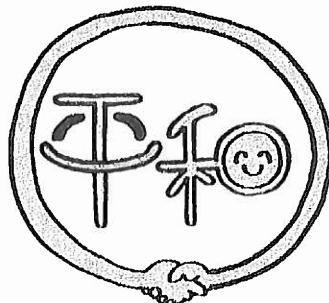
『with コロナ』での教育活動

校長 松原 康雄

例年よりも短かった夏休みも終わり、校内に子どもたちの楽しそうな声が響いています。2学期始業式当日は夏休み中に作った大きな作品を抱えて登校する児童の元気な姿を見ることができて一安心をいたしました。

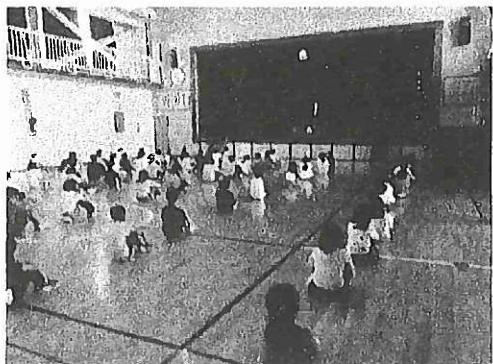
8月6日に文部科学省から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル Ver.3」が発表されました。本校でもこれに則り感染症対策を進めます（接触感染を避けるため石けんやハンドソープを使い、手洗いをしっかりと行う。感染のリスクが高い学習活動について、換気、身体的距離の確保等の感染症対策を行った上で実施）。2学期はこれらの感染予防に努めながら、遠足や土曜参観日、宿泊学習、修学旅行等の行事も実施し通常の学校生活に少しずつ近づけて参ります。ただ、三密を回避することが難しい学芸会については、以前にお知らせしたとおり12月に延期し内容についても変更を予定しています。ご了承ください。

今年は戦後75年という節目の年でした。新聞やテレビ等でも終戦の日前後で戦争にまつわる様々な話題が取り上げられていました。私自身も小さい頃、母から空襲や疎開の様子、戦死した祖父のこと、戦中・戦後の苦しかった生活等の話を聞いたことを断片的に記憶しています。2学期の始業式でも子どもたちに話し合いの大切さを話す中で、戦後75年間続いた平和についても觸れました。現在は戦後生まれが人口の8割を超えており、今の平和が多くの犠牲があって手にしたこと忘れがちになっています。けれどもその平和を維持するために今多くの人が努力しています。この平和が子どもたちの世代まで変わらず続いていることを心から願っています。



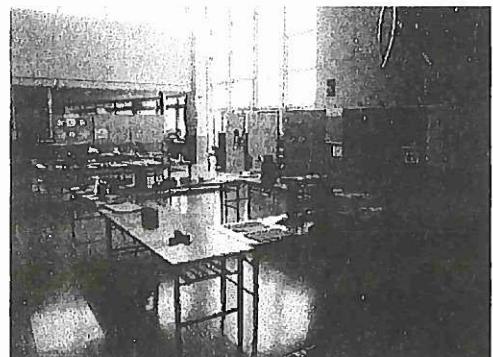
始業式

短い夏休みが終わり、事故や怪我などもなく、全校児童が登校してきました。間隔をあけて体育館に集合し、2学期の始業式を行いました。校長先生からは12月までの長い学期になりますが、感染症や健康に気をつけて元気に過ごしてほしいとお話がありました。児童会の代表の挨拶もあり、よいスタートとなりました。



夏休み作品展

短い夏休みにもかかわらず、多くの力作が展示されました。工作や、調べ学習など個性溢れる多彩な作品ばかりでした。学級から選ばれた作品は村の広報誌にも掲載されますので、そちらもご覧下さい。



避難訓練

地震を想定した避難訓練を行いました。授業中に緊急地震警報が出されたという設定で、学級毎にグラウンドに避難しました。避難して点呼後、密をさけるためすぐに教室に戻りました。当日は気温も高かったため、熱中症対策としても良かったです。その後、校長先生と、消防署の方から講評を校内放送でしていただき、学級で振り返りをしました。「地震はいつおきるか誰もわからない。でもかならずおきます」というお話から、普段からの備えの大切さを実感しました。



秋の遠足

年間予定から1週間遅らせて、全校遠足を行いました。例年は2学年毎に距離や行き先を変えていましたが、今年度は縦割り班で「ルツツふるさと公園」に行きました。グループ毎にお弁当を食べたり、rekkoをしたりして遊びました。今年度、なかなか行事が出来ない状況で、よい思い出になったと思います。

